

学会便り 第141回秋期大会報告

第31回「女性会員の会」報告

The 31st women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

3回目のオンライン開催となった第141回秋期大会中、11月13日(土)12:10~13:10に、入退室自由の、第31回女性会員の会をオンラインで開催した。参加者は合計21名(女性16名、男性5名)。初参加は院生の方2名であった。

過去2回のオンライン開催では参加者が集まりにくいことが課題だった。そこで今回は以下の試みを行った。

1. 講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。
2. 女性会員の会アドレスから過去に参加された方への呼びかけを行った。

また、参加者同士の交流ができる方法として、①チャットで個人的なやり取りの推奨、②ブレイクアウトルームを設置し、少人数で会話ができる環境を設置する、こととした。

参加者増加策が功を奏したのか、現在育児休暇中の方が数年ぶりに参加され、生後2か月のお子さんも時々画面に映り込んで参加者の最年少記録を更新した。

1. 自己紹介：氏名・所属、ひとこと

参加者には自己紹介とともに「理系に進んだ理由」、「今の研究テーマとこれからやりたいこと(学生)」、「学生の頃の研究テーマと今の仕事(社会人)」をテーマにスピーチしていただいた。

1.1 理系に進んだ理由

子供の頃から理科系教科が好きだった、数学・物理が得意だった、高校教師から文系を勧められて反発した、理系は食いはぐれしないから、理系でないと大学進学を認めてもらえなかった、数学専門の塾で数学に興味を持った、高校の時の理科実験で理系に興味を持った、文系科目が苦手だった等、理系に進んだ理由は人それぞれで興味深い話を聞くことができた。

1.2 これからやりたいこと

参加した学生は5名で、卒業後も企業もしくは大学で研究を続けたい、と頼もしい発言が複数の方からあった。また、マレーシア出身の留学生はマレーシアと日本に貢献できる仕事をしたいと語り、ぜひ夢を叶えてほしいと思う。

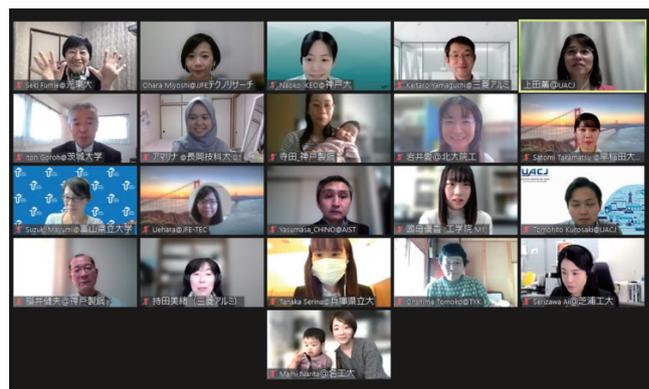
社会人の方からは学生時の専攻に近い分野に進んだ方、専攻から若干離れつつも研究開発ができそうな企業に就職した方、自身の興味を深めるために専門外の分野に飛び込んだ方もおられた。企業に限らず、大学でも所属組織の意向で希望通りの研究ができるかどうかは不明だと思うが、学生の皆さんには自身のキャリア形成の一環だと(一部)割り切りながら研究に取り組んでいただきたいと願っている。

2. ブレイクアウトルームに関して

早めの中締め後にブレイクアウトルームを運用した。当初は託児室、ワークライフバランス、SDGsをテーマに討論する予定であったが、中締め後の参加者数が少なかったため、メインルームで雑談、ブレイクアウトルームで託児室に関して討論を行った。メインルームでは前々日に開催されたパネルディスカッション(軽金属業界におけるダイバーシティの現状と課題)の聴講者から感想を聞くことができた。ブレイクアウトルームでは新型コロナ後の学会での託児室利用に関するテーマで育児中・出産間近の参加者で討論した。ワクチン接種を受けていない幼児を預けることに抵抗がある、との意見があり、託児料金以外の方法で参加者援助をしていく方法を検討する必要がある。男女共同参画委員会で今後の検討課題としていきたいと思う。

次の第142回春期大会は対面式あるいはオンラインで開催、どちらになるのかまだわからないが、女性会員の会も開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

世話人：小原美良、上田 薫、芹澤 愛、池尾直子、大島智子



参加者の写真撮影 (2021.11.13)

第141回秋期大会での関係行事

第5回男女共同参画セッション「企業で活躍する博士」

講師 三菱アルミニウム株式会社 澤谷氏

日本軽金属株式会社 竹田氏

軽金属学会「女性会員の会」の歴史

<https://jilm.or.jp/page-resource04>